

## 近代 史学的方法 VS.ハディース方法 (5/5) : ハディースの格付け 半

:

明: 承者 路の信 性に基づいた、 々なハディースの について (半)。

目: [事言者ムハンマド彼の言 にして](#)

より: リ ム アッザ ?

日 2 Sep 2011

集日 12 Sep 2011

第五の 目に基づき、ハディースはイスナ ドとマトンの性 によって格付けされることもあります。アッ=シャ フィイ によると、信 のおける人物から 告されたハディースが、彼よりも信 のおける人物の供述とかみ合わない 合、そのハディースは??

(不 なもの) であるとされます。イブン ハジャルによれば、信 性の乏しい 告者が真正ハディースに矛盾すると、そのハディースは??

(非 されるもの) であるとされますが、一部の学者たちは信 性の乏しい 告者を含むハディースはどれもムンカルであると格付けします。また、本文が 言者による一般的な 言と矛盾したものであった 合にも、ムンカルの格付けがされます。もしも信 のおける人物から 告されたハディースに、他の信 性のある典 では 告されていない追加の情 がある 合、その追加はそれらに矛盾しない限りは められ、追加のことは??????????

(信 のおける者からの追加) として知られます。しかし、 告者が 告しているハディースに何かしらを追加した 合、そのハディースは??

(改 されたもの) と格付けされます。これがハディースの中で起きるのは通常、本文中の しい言 を 明する です。これがイスナ ドの中で起きるのは、ほんの かな例です。つまり 告者がイスナ ドの一部を き取り、 のイスナ ドに 入することです。意 的なイドラ ジ (改 ) を行うことで知られる 告者は、一般的に嘘つきと なされますが、 しい言 を 明するためにそれを行う 告者たちに しては、学者たちは 容の姿 を示しています (Hasan 37-39) 。

第六の目においては、ハディースのイスナド及びマトンにおいて 欠のあるものが、  
?????もしくは?????

(欠のあるもの)として格付けされます。これは、ハディースが にはムルサルであるのにムスナドであると格付けされてしまった 合、または には う人物であるのに、ハディースを特定の教友に 属させた 合などの原因が考えられます。そういった欠 を するためには、ハディースにおけるすべてのイスナドが 集され、 されなければなりません。以下はその例です:

“一部の学者らは、どの 者がどの教友からハディースを いたのかという を著しています。この情 から、アル=ハサン アル=バスリ がアリ に出会ったことはなかったということが 知されます。しかしながら、彼の幼少 代に 者がマディナで出会ったかも知れないと、いう可能性は かながら存在します。このことは、アル=ハサン アル=バスリ がアリ から直接 告したと言われている多くのス フィ 承において、 めて重要なことです。” (Hasan 42-43)

イスナド、または本文において疑念のある 合は、そのハディースは???

(不安定なもの)という格付けがされます。これは 告者たちがイスナドまたは本文のある部分に して一致せず、いかなる 定した 解も 生しない 合です。イスナドにおける名前が逆になっている 合(たとえばカアブブン ムッラがムッラブン カアブになっているとき)、または本文における文章の 序が逆になっている 合、そのハディースは???

(更された、または逆になった)と格付けされます (Azami 66)。これは本文に とは なるイスナドが与えられている 合かその逆の 合、または 告者の名前が の人物の名前にすり替わっている 合なども同 です (Hasan 41-42)。

本稿における最 の、第七の目は、 告者の素 によって格付けされるものです。ハディースの はこれによって 定的に委ねられます。ア ディル、ハ フィズ、サ ビト、またはスイカとして知られる者たちによって 告されたハディースは、最も段 の高いハディースであり、サヒフ (真正)として格付けされます。 かがア ディルと なされるためには、敬虔なムスリムであり、すべての行いにおいて かつ正直者として振舞わなければなりません。 々な 者たちの において、ハディースの本文に いだせる口 による合意についての慎重な比

を通して、が最も正（サビト）だったか、または最も信にしたか（スイカ）、または最も力がれていたか（ハフィズ）が指し示されます。学者のかがこれらの基のうち、最低どれか一つをたさなければ（そして非されていなければ）、彼によって告されたハディスは真正度のより低いもの、つまり??

（良好）であるとされました。もしも告者の力が弱いことで知られていた、または不用心からいばかりを犯していたのであれば、彼によるハディスは?

（弱いもの）であると判断されました（Burton 110-111）。

もちろん、ハディスの最的なにおいてはその他の要素もわってきますし、イブンアッ=サラフの言を借りると、“サヒフのハディスとは、暗力に信性のある告者が同の威からえるイスナドがし、本文にはいかなる不性もなく、またイスナドにおいてもいかなる欠も出されないもの”です。アッ=ティルミズィによると、ハサンのハディスとは“シャツズではないもので、イスナドにおいて非にする告者が含まれていない、一つ以上の路によって告されたもの”（Hasan 44-46）とされます。ハサンのハディスとしての必要条件をたせなかったものにはダイフの格付けがされ、それは大抵の場合、イスナドにおける非性が原因です。もし告者のうちのかが多くのちを犯していたり、不だった合など、何らかの理由によってい判を持つ合も、ダイフであると格付けされます。欠が多く、それらが深刻な合、ハディスは??????

（捏造されたもの）と格付けされます。アッ=ザハビによれば、マウドウウのハディスとは、言者によって立された模基に本文が背いている合、またはイスナド中に嘘つきが含まれている合です。また、ハディスに「特定の出来事における日程やし、外的によって相がされた合」（Hasan 49）にもマウドウウであると格付けがされます。

ここで既述された格付けは、存在する内のほんの一部にぎません。ハディス学は非常にであり、あたかも学者たちは考え得る全ての角度からのハディス分析を考え出したかのようです。このすべてはなるの承、特に真正のものと非真正のものとをするために生み出されたのです。

この 事のウェブアドレス:

<https://www.islamreligion.com/jp/articles/1169>

著作 2006-2015 断 を禁じます。 2006 - 2023 IslamReligion.com. 断 を禁じます。